

気まぐれ

ながの情報

号者幸 1 8
 行 忠 3
 井 野 1 0
 3 8 9 - 1 1 0 3
 長野県長野市
 野町蟹沢1179
 TEL&FAX: 026-257-3461
<http://www.janis.or.jp/users/chu798/>

初めての国際会議にドキドキ

「ここは10月のシアトルよ!」

第6回を迎えるIPLA(インターナショナル・ピンクレディー・アライアンス)総会に、PLJ(ピンクレディー・ジャパン)代表の中村隆宜氏と私の2名が日本代表として参加してきました。期間は、現地時間で10月15日(日)〜18日(水)まで。シアトルでは、滞在していたホテルで3日間、「缶詰」状態で過ごしました。

現地時間の10月15日(日)午前8時過ぎ、我々を乗せたノースウエスト08便は無事、シアトルのタクマ国際空港に到着しました。今回は、中部国際空港 成田国際空港とタクマ国際空港と

3つの空港を通過しましたが、それぞれの場所で執拗なまでのセキュリティチェックが行われていて、いまだに厳しい警戒態勢が敷かれていることを強く実感しました。入国審査を終え、タクシー乗り場を探そうと周辺をうろつる。外はあいにくの雨で、おまけに寒い。向こうからやって来た親切そうな女性に中村さんがタク

シー乗り場を訪ねましたが、彼女自身もよくわからない様子で、しばらく雑談をしながら歩きました。「寒いですね」と声をかける。「ここは10月のシアトルよ!」と、にべもなく言われてしまいました。このとき私は、カーディガンなどの羽織れるもの一枚を余計に持ってこなかったことを、あらためて後悔したのでした。

「ジョンさんとの再会」

そんなこんなでタクシーを拾い、9時過ぎにホテルに着。APAL(アップルアンダー・オーストラリア・リミテッド)のジョン・ダーラム氏と約10ヶ月振りの再会を果たしました。また、ホテルのレストランでは、総会参加者諸氏と緊張の中、初対

面しました。一通り挨拶を終えたところで本日はとりあえずすることもないので、中村さんとダウンタウンにあるスペース二

「ダウンタウンにて」

お天気は相変わらず雨模様で、スペース二ードルに上つて間もなく霧も濃くなり、ここの観光は敢えなく中止となりました。私はといえば、近くのおみやげ屋で寒さ対策のフリースを買い込み、またホテルへと引き返したのでした。

「イチローこぼれ話」

「そうそう、シアトルといえば、やっぱりイチローだよな?」と、にわかには信じがたい。イチローを思い出し、改めておみやげ屋を始めあちらこちらを見回



しましたが、やっとのことで発見できたのは、スペース二ードルの向かいのビル一面に大きく描かれた肖像画?(左上段写真)が一点のみ。日本では毎日のように報道されているイチローですが、地元シアトルでありながらこんなにも見つけにくいものなのかと感じさせられたのでした。



パーティー前が筆者。一番左手前が筆者。一言も聞かなくてもわかる!

「お酒が入ると・・・」

レセプションパーティーは、ダウンタウンのレストランで行われました。デザインや雰囲気は、やはり日本のものとは違う独特の洒落た雰囲気がありました。

南アフリカのピーターさんによる歓迎の挨拶と乾杯でレセプションが始まりました。お酒が入ることに緊張も少しづつ解れ、口もそれまでよりなにより、賑やかに夜は更けて行きました。

「うわっ!!大変だ!!」

突然の電話に飛び起きるも一瞬、事情が飲み込めませんでした。電話の向こうでは誰か(多分、ジョンさん)が、

「TAKA、CHU、早く会場に来るように!」と言っているように聞こえました。時計を見ると午前9時。会議はすでに、午前8時半から始まっているはず。慌てて飛び起き、私はひげを剃るのも忘れて着替えると、一目散に会場へと駆けつけたのでした。にもかかわらず、皆はコーヒを飲んだり談笑したりとなごやかに過ごしていたのです。



IPLA総会資料

それもその筈。写真右のレジメの議長挨拶文の中には、我々2人の名前がしっかりと印刷してあったのです。名前を読まれるはずの2人がいないことは、会議も始められないというものです(汗)。そんなことばたばたを経て、総会初日が始まったのでした。

「おめでとう」中丸をやりくりし生種(我が家)でこの総会に参加と秋映や紅玉)加することが出の収穫・出荷で来ました。忙しい筈の中、せばなる。成さ「えーい、ままねば・・・」とよ「と約ひ月という名文があり前に決められた今中を何とかしよのシアトル行き中を何とかしよお客様のご協力するから、努力と我が家のお力です。お利口さんなりんそこに光を見いだすことが出来るのですね」